

NIFS KANOYA FC

節	対戦相手	H/A	試合結果	談話（コメント）
1	熊本県教員蹴友団	H	○1 - 0	自動降格が2チームとなるシーズンが開幕。昨シーズンまでのメンバーは卒業し、フレッシュなメンバーで挑むことになりました。コロナ禍で思うように練習ができないという状況から、不安定な立ち上がりを懸念し続けていました。いろいろな不安を抱えながらも、開幕2試合を通じて勝点と経験値を積み上げることができ、選手たちの表情には多少の明るさが戻ってきたように思います。
2	川副クラブ	A	○6 - 1	また、リーグ自体がレベルアップしたことを感じるため、経験値の少ない私たちにとっては、毎試合が勉強の場となりそうです。沖縄県協会の皆様、審判団の皆様、リーグ事務局の皆様、沖縄SVの皆様、海邦銀行SCの皆様、ご準備、運営いただきありがとうございました。
3	海邦銀行SC	H	○1 - 0	試合前、仲間監督と談笑。その後、良い試合になるようお互いの健闘を誓い合ってキックオフを迎えた。試合内容は決定機は海邦SCさんに多く訪れており、自チームの守備の甘さが見え隠れする場面が多々あった。一進一退の試合内容だったが、後半の終了間際にできた決定機を外さなかったこと、集中力を維持したことが勝因だったと感じる。海邦銀行SCの皆様、審判団の皆様、県協会の皆様、今節もありがとうございました。
4	KMGホールディングス	A	○3 - 1	序盤から経験値で勝る相手選手の勢いに圧倒され、何もできない時間が続く。前半終了前にラッキーな場面から得点し、選手たちの不安は解消されたように感じる。後半、さらに勢いを増した相手選手たちを前にして、思うようにプレーできない時間が多くなっていった。そんな中で追加点を重ねたことは自信につながるだろう。KMGの濱中選手は昨年の大怪我によりリハビリ中であるが、彼のプレーはお手本として選手たちに見てもらいたい。早期回復を願っています。KMGホールディングスFCの皆様、審判団の皆様、福岡県協会の皆様、ボールパーソンを務めていただいた九州産業大学附属九州高校サッカー部の皆様、ありがとうございました。
5	Brew KASHIMA	H	△0 - 0	序盤から一進一退の試合展開であったが、相手選手は技術レベルが高く、いつ失点してもおかしくない試合内容でした。相手チームから学ぶことが多く、「個のレベルアップは必須事項」と思いながら試合を観ている場面もありました。今節の結果は引き分けでしたが、勝っても負けても引き分けでも課題がたくさんあることに変わりはなく、選手たちの成長が楽しみです。Brew KASHIMAの皆様、片道約5時間の道のりをお越しいただきありがとうございました。審判団の皆様、鹿児島県協会の皆様、サポートしてくれた学生諸君、ありがとうございました。
6	FC延岡AGATA	A	●0 - 6	立ち上がりからぼてぼての失点を繰り返し、前半を終えて3点差。後半もぼてぼての失点や相手選手の素晴らしいミドルシュートが入って3点で大敗。シュートの雨あられ。強かったあ。育った畑が違う相手との試合、良い経験をさせてもらいました。こうして経験を積み上げながら急成長してくれる選手たちには感謝しているが、成熟する頃には卒業…。寂しいぜ、というのが本音です。FC延岡AGATAの皆様、ボールパーソンや準備等をしてくださった九州保健福祉大学サッカー部の皆様、審判団の皆様、宮崎県協会の皆様、ありがとうございました。
7	ジェイリースFC	A	●2 - 4	試合開始早々に失点を重ねる余計な習慣が身につく、今回も同様の展開になりました。その後も失点を重ね、前半で3失点。おかげさまで打たれ強くなりまして、ハーフタイムの選手たちはめげずに後半に向けて士気を高めていました。後半だけ見れば2 - 1、トータル2 - 4という結果でしたが、選手たちの成長が感じられる試合だったように思います。保護者、OB、OBの保護者などアウェーとは思えないほどの大応援をいただきました。感謝いたします。ジェイリースFCの皆様、審判団の皆様、大分県協会の皆様、ボールパーソンの大分工業高校サッカー部の皆様、ありがとうございました。